

だるまさん



か　ひと　しっぴつしゃ　たはた　みつえ
書いた人／執筆者：田畑サンドーム光恵

ひと　しっぴつきょうりよくしゃ　にしおさちこ
てつだってくれた人／執筆協力者：西尾佐知子

「読み物いっぱい」でご紹介するお話の字のフォントや全体のフォーマットが国際交流基金関西国際センターの「KC 読む読む」に似ていることがあります。これに関しては「KC 読む読む」の担当者の方にご了解を得ております。ここに温かいご協力に感謝の気持ちを表したいと思います。

みなさんは、「だるまさん」を見たことがありますか。

「だるまさん」は、赤色の紙でできた人形です。

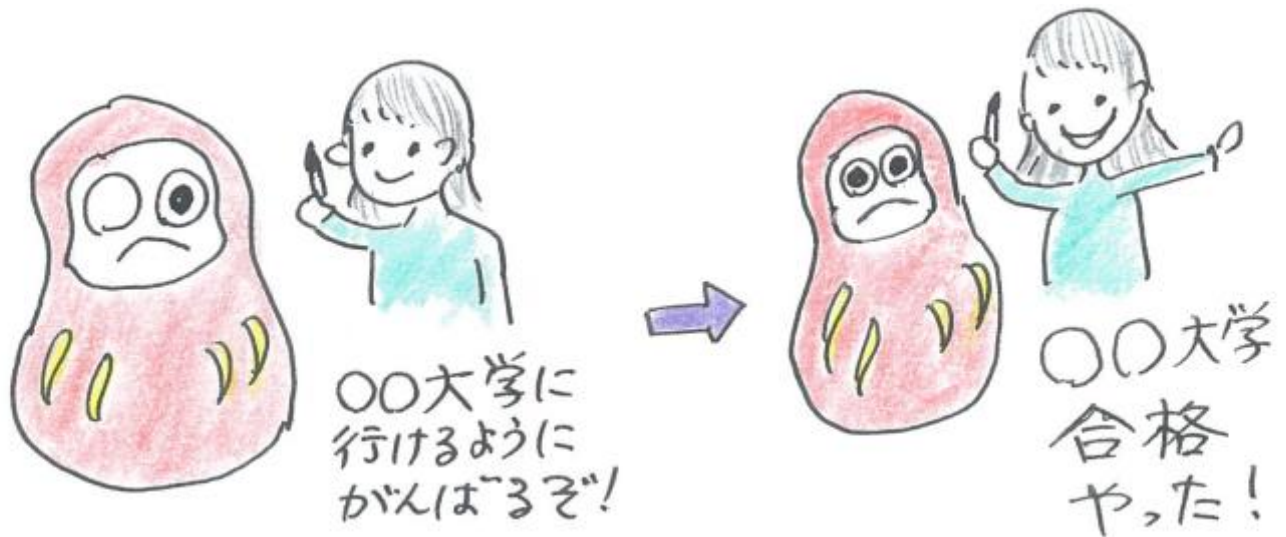
「だるまさん」には目がありません。



Labelled for reuse image
<https://bit.ly/2tJBeko>
Copyright of the image (Author): [Sat666](#)

にほんじん おも とき
日本人は、がんばろうと思うことがある時に、「だるまん」
ひと め か とき
の一つの目を書きます。そして、がんばってうまくいった時
ひと め か
に、「だるまん」のもう一つの目を書きます。

まるまるだいがく い おも こうこうせい
たとえば、「〇〇大学に行きたい！」と思う高校生は、
ひと め か まるまるだいがく
「だるまん」の一つの目を書きます。そして、〇〇大学
い とき ひと め か
に行ける時は、もう一つの目を書きます。



「だるまさん」のモデルは、「達磨」という人です。「達磨」は、インドで生まれました。そして、中国へ行きました。中国で500年ごろに、仏教の禅宗をはじめました。

仏教の禅宗では、じーっと座って心を強くします。それを「座禅」と言います。

「達磨」は、心を強くするために、9年間も座禅をしました。「長い間座っていたので、手と足が無くなった」、という話があります。だから、「だるまさん」にも手と足がありません。



「だるまん」は、ふつうは赤い^{あか}です。赤^{あか}はいい色、強い色^{いろ つよ いろ}だからです。

赤^{あか}は、昔^{むかし}からいい色^{いろ おも}とされていました。お菓子^{かし}に、「赤^{あか}」のおまんじゅう^{にゅうがくしき}があります。入学式^{けっこんしき}や結婚式^{にゅうがくしき}のように、いいこと^{いわ}をお祝い^{とき}する時^たに食べます。

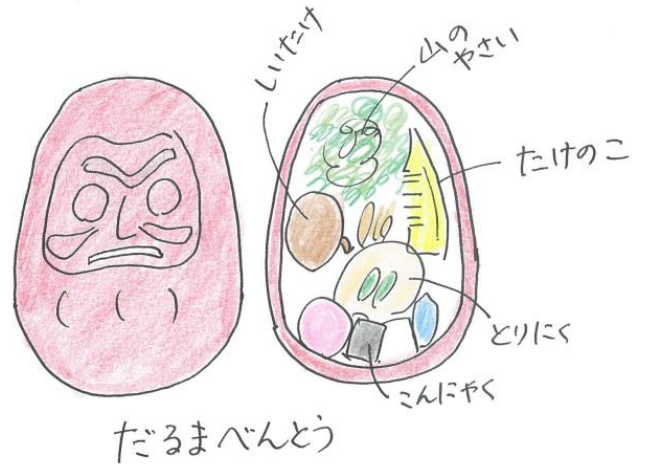
また、赤^{あか}は、火^ひの色^{いろ}です。悪い物^{わる}は火^{もの}がきらい^ひです。だから赤^{あか}は、悪い物^{わる}に強い^{もの つよ}と言われ^いています。



にほんじん す
日本人は「だるまさん」が大好きです。

こども あそ
「だるまさんがころんだ」という子供の遊びがあります。

ぐんまけん たかさきえき
群馬県の高崎駅では、「だるま
べんとう う
弁当」が売られています。



ゆき あつ つく にんぎょう
また、雪を集めて作る人形を
ゆき い
「雪だるま」と言います。



まいとし がつ ぜんこく いじょう いち
毎年1月には、全国で10以上の「だるま市」（「だるま
さん」を売るマーケット）があります。

こんど にほん い か
あなたも今度日本に行ったら、ぜひ「だるまさん」を買って
ください！（456語）